

平成27年度事業報告

1. 火薬類に関する調査研究

(1) 爆発安全専門部会

○近距離見学会：平成27年3月19日（木）14：30～16：00

見学先：独立行政法人 海洋研究開発機構（JAMSTEC） 横浜研究所

内容：展示施設「地球情報館」：地球シミュレータを中心に見学した。

○第34回：平成27年6月15日（月）14：30～17：00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 検討事項 1) EXPLOSION 誌での解説記事の執筆の件、2) STEM 誌のインパクトファクター(IF)に関連して最近の投稿論文の中から1, 2報を推薦する件、3) 近距離見学会の件。

2. 話題提供 1) はやぶさ2インパクトについて、2) 平成26年度野外実験（平成26年9月7日～9月19日）報告、3. 学会用語集の見直し

○第35回：平成27年8月31日（月）14：30～17：00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 話題提供 1) 第30回 ISSW 参加報告、2) 第25回 ICDERS 参加報告 2. 学会用語集の見直し、3. 近距離見学会の候補 4. 学生発表会の可能性調査、5. 論文推薦

○第36回：平成27年10月23日（金）14：30～17：00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 部会長挨拶、今後の活動目標 2. 1) アンケート結果報告 2) 見学会の検討 3. 話題提供 1) 中国天津での爆発事故における爆発物の検討 松村知治委員

(2) 発破専門部会

○第269回：平成27年5月13日（水）15：00～17：00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 第8回日中韓火薬発破技術者会議の進捗について 2. 見学会について 3. 話題提供 「4th Asian-Pacific Symposium on Engineering Blasting について」 (株) ダイカ杉本元気委員 4. その他 JMAS への協力（不要文房具等の寄贈）

○第270回：平成27年年6月17日（水）～6月19日（金）

見学会：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構幌延深地層研究センター、北海道科学技術総合振興センター幌延地圏環境研究所

○第271回：平成27年7月8日（水）15：00～17：00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 第8回日中韓火薬発破技術者会議の進捗について 2. 見学会の報告 西野佳奈委員 3. 発破用語集 4. その他 JMAS への協力（不要文房具等の寄贈）の報告、火薬学会委員会・専門部会長会議の報告、 発破専門部会名簿の整理

○第272回：平成27年9月2日（水）15：00～17：00 於日本火薬工業会 会議室

議事 1. 第8回日中韓火薬発破技術者会議の進捗 2. 発破用語集の検討 3. 話題提供「日野熊雄氏のショック波発破理論」橋爪委員 4. その他 今後の話題提供について

○第273回：平成27年11月23日（月）～27日（金） 於 福岡大学中央図書館多目的ホール、大分太平洋鋳業株式会社津久見鋳山、及び熊本大学パルスパワー科学研究所

議事 1. 第8回日中韓火薬発破技術者会議 各国の発表（日本：5、中国：3、韓国：3） 2. 見学会 大分太平洋鋳業株式会社津久見鋳山及び熊本大学パルスパワー科学研究所

○第274回：平成27年12月17日（木）15：00～17：00 於日本火薬工業会 会議室

議事 1. 第8回日中韓火薬発破技術者会議の報告 2. 話題提供「岩石破壊メカニズム」黒川孝一委員 3. 専門部会小委員会の再出発及び都市地域内での発破についての提案 4. その

他 1) 孔底起爆 2) 平成 27 年度動的破砕技術に関する研究会案 3) 今後の話題提供
○第 275 回：平成 28 年 3 月 11 日（金）13：00～17：00 於 五洋建設(株)技術研究所
議事 1. 平成 27 年度動的破砕技術に関する研究会 2. EXPLOSION 誌の「シリーズ」について
3. その他 発破専門部会名簿の確認

(3) プロペラント専門部会

○第 163 回：平成 27 年 6 月 11 日（木）13：30～15：30 於 日本大学 駿河台校舎 5 号館
524 会議室 1. 講演：(1)Basic Phenomena Induced by Pressure Wave in Combustion Chamber
田辺教授（日大理工） 2. ホームページの更新に関して 3. 見学会に関して

○第 164 回：平成 27 年年 9 月 8 日（火）13：00～16：30 於 JAXA 種子島宇宙センター
議事 講演：(1) 見学(自由見学)；宇宙科学技術館（自由見学）TR1 打ち上げ棟竹崎射場
(2) ツアー；大崎射場、打ち上げ管制室等 種子島施設見学会

○第 165 回：平成 27 年 9 月 15 日（火）13：00～16：30 於 日本大学 駿河台校舎 10 号
館議事 講演：ロケットモータの研究開発の歴史-糸川先生によるペンシルロケットの開発
から M シリーズ及び固体ロケットの開発の目的に関して；人間開発研究所代表・永岡忠彦

○第 166 回：平成 27 年 10 月 27 日（火）13：45～16：40 大学駿河台校舎 5 号館
議事：(1) AIAA JPC 参加報告 (2) ICT 参加報告 (3) その他

○第 167 回：平成 28 年 3 月 7 日(月)13：45～16：40 於 日本大学 駿河台校舎 5 号館
講演会：(1) 卒業研究 (2) AIAA に参加して (3) その他

(4) 火工品専門部会

○第 90 回：平成 27 年 8 月 21 日（金）14：00～17：00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1. IPS 関係の近況 2. 安定度試験の見直しについて 3. 火薬類の安全な取り扱いに
関する課題と今後の法規制についての整理 4. 火工品部会の進め方についての議論、
種々の火工品を整理し、EXPLOSION 誌への投稿も検討する。

○第 91 回：平成 28 年 3 月 25 日（金）14：00～17：00 於 日本火薬工業会会議室
議題 1 火薬類安定度試験の調査結果 2 火工品用語の見直し 3 話題提供①12thWPC、42ndIPS
開催情報、海外出版物紹介②” Chemistryworld” にみる火薬関連記事の紹介③火薬類に関
する数種の文献紹介 4. EXPLOSION 誌における「初心者用の良きシリーズ」化の案について

(5) 煙火専門部会

○第 59 回：平成 27 年 4 月 23 日（木）13：30～17：00 於 日本火薬工業会 会議室
議事 1. 情報交換（海外事情、会議、文献、事故など） 2. 煙火の歴史と用語 3. 煙火研究
の研究 4. その他（部会、見学会予定）

○第 60 回：平成 27 年 10 月 7 日（水）13：00～17：00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1. 前回議事録の確認 2. 情報交換(1) 国内及び海外の事故情報(2) 関係会議報告 ①
大塚氏が 15thISF（2015 年 9 月 20 日～25 日，ボルドー）の参加報告 ②火薬学会秋季研究
発表会（2015 年 12 月 10 日～11 日，大分） 3. 煙火用語は、「煙火用語の整理方針と JIS 火
薬用語案 煙火」を配布し，検討した。学会用語案 煙火を作成し，該当する UNTDG 用語を
併記する。また ISO/TC264 用語は ISO 施行後に対応する。4. 煙火の現状と課題について，
今後議論を行う。5. 国内の煙火研究；「ススキ花火の事故研究」 畑中修二氏

○第 61 回：平成 27 年 12 月 8 日（火）13：30～17：00 於 日本火薬工業会会議室

議事 1. 前回議事録の確認 2. 情報交換 (1) 文献情報, 15thISF (2015年9月20日～25日, ボルドー) の講演題目を資料配布し, 講演内容を説明した。(2) 関係会議報告①「15thISFに参加して」(産総研, 和田有司氏の Explosion 原稿) ②ISO/TC264WG と総会 (2015年10月26日～30日, プレトリア) ③火薬学会秋季研究発表会 (2015年12月10日～11日, 大分) 3. 煙火用語は, 資料 (火薬用語案 煙火) を配布し審議を行った。4. 煙火の現状と課題について, 継続的に検討する。5. 火薬学会各専門部会推薦論文の趣旨説明と煙火専門部会推薦論文 (2報) を紹介した。

○第62回:平成28年2月17日(水)13:30～17:00 於 火薬工業会会議室

議事 1. 情報交換(1) 海外の事故情報(中国の煙火工場の事故3件)(2) 文献情報 15thISF の講演要旨を一部紹介(3) 2017年4月25日～29日に, 大曲において開催予定の16thISF の論文募集を紹介 2. 煙火用語は, 資料 (火薬用語案 煙火) を配布し審議を行った。3. 忝沢氏が「火薬類のグリーン化の最近の研究」について説明した。また, 村田氏が「電気点火システムと携帯電話」について説明し, 質疑応答が行われた 4. その他 (部会、見学会予定)

(6) 爆発物探知専門部会

○爆発物探知ハンドブックの改訂版発行について丸善と打ち合わせ、著者に原稿の改定を依頼した。平成28年2月に発行し、テロ対策セミナーのテキストとする。

○「法科学と CBRNE テロ対策講演会」 共催 (公財) 総合安全工学研究所、(公社) 全国火薬類保安協会、開催日時;平成27年6月26日(金)10:00～17:00 於 機械振興協会会議室 出席者:77名

講演:(1)「化学テロ」大森毅(科学警察研究所)(2)「バイオテロ」水野なつ子(科学警察研究所)(3)「放射性物質テロ」土屋兼一(科学警察研究所)(4)「爆発物テロ」中村順(総合安全工学研究所)(5)「爆発物の威力と被害」中山良男(産業技術総合研究所) 航空, 原子力, 交通機関, 医療・危機管理, 警備, 消防などの関係者の参加があり, 普段聞けない貴重な内容の話の聞くことができたことと好評であった。

○火薬学会爆発物探知専門部会編 「爆発物探知・CBRNE テロ対策ハンドブック」が平成28年1月25日に、丸善より発行された

○平成28年2月19日:爆発物探知・テロ対策セミナー開催。於日油技研工業(株)川越工場 講演(1)「火薬類の危険性と威力」中山良男(産業技術総合研究所)(2)機器類の実演及び火薬類の試験(3)「爆発物探知とテロの現状について」中村順((総合安全工学研究所)(4)「CBRN テロについて」井上忠雄(NBCR 対策推進機構) 64名の参加を得、時期を得たセミナーとして好評であった。

(7) ガスデトネーション専門部会

○2015年度第1回ガスデトネーション専門部会講演会、平成27年年4月16日(木)14:00～17:00、青山学院大学 相模原キャンパス E棟 E306教室、林、朝原、Dzieminska 他14名。講師はDerek Dunn-Rankin 教授(米国カリフォルニア大学アーバイン校 機械・航空宇宙工学科)で、講演題目はExploring Opportunities for Hydrates in Energy and the Environment。ハイドレートの海底からの取り出し法や保存法・燃焼法について話し合った。

○2015年度第2回ガスデトネーション専門部会講演会、平成27年10月22日(木)14:00～17:00、上智大学中央図書館、林、朝原、Dzieminska 他20名。講師は①Mike Kuznetsov: Karlsruhe Institute of Technology (KIT), Institute of Nuclear and Energy Technology,

Flame acceleration and DDT in different geometries. ②Andrzej Teodorczyk : Warsaw University of Technology, Faculty of Power and Aeronautical Engineering, DDT and two-phase detonation. ③A. Koichi Hayashi : Aoyama Gakuin University, Dept. of Mechanical Engineering, Sub-transverse wave and unstable detonation. 3人のデトネーションの専門家により、気体デトネーションの基礎について話し合った。

(8) 爆発衝撃加工専門部会

○第14回：平成27年5月29日（金）9:15～9:35 於 慶應義塾大学日吉キャンパス
議事 1. 専門部会活動活性化に関する意見交換 2. ESHP ワークショップ（熊本大学；平成27年9月28(月)～29日(火))、3. 平成28年3月7(月)～9日(水)に衝撃波シンポジウム（熊本大学）、4. 第8回日中韓火薬発破技術者会議（発破専門部会が中心）の見学会共催

○第15回：平成27年9月28日（月）16:50～17:10 於 熊本大学黒髪北キャンパス議事
1. 活動状況と今後の行事について。第4回 ESHP ワークショップ（熊本大学；平成27年9月28(月)～29日(火)) を共催した。第5回 ESHP シンポジウムは北京で平成28年9月26日(月)～28日(火)で開催予定。9月10(木)、11日(金)に熊本大学において「火薬類の安全保障・利用に関する講習会」を火薬学会西部支部との共催で実施。発破専門部会が主催する「第8回日中韓火薬発破技術者会議国際会議」に関係して、熊本大学の爆発実験施設見学会を専門部会の共催行事（平成27年11月26日(木)）とする。

○第16回：平成27年11月26日（木）15:30～15:50 於 熊本大学パルパワー科学研究
所衝撃極限環境研究棟

議事 1. 専門部会活動状況と今後の行事。本年度の第3回の専門部会を、第8回日中韓火薬発破技術者会議の共催行事として実施できたことについて部会長からお礼が述べられた。来年度、ESHP シンポジウム（第5回目）が北京で2016年9月26日～28日の日程で開催準備が進んでいることが紹介された。各種の組織と協力して専門部会の行事を積極的に実施することが合意されるとともに、意見交換が行われた。2. STEM 誌掲載の部会関連論文の推薦について 3. 見学会（午後4時～午後5時）施設説明、施設見学（爆発圧着実験を実施）

(9) 自動車用安全部品専門部会

○第36回：平成27年4月16日（木）14:00～17:00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1. 自動車用安全部品評価方法のまとめに関する議事(吉野) 自動車用安全部品評価方法のまとめとして、公知の評価方法 USCAR および AK-LV の和訳の確認を行った。

○第37回：平成27年6月30日（火）14:00～17:00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1. 自動車用安全部品評価方法のまとめに関する議事(吉野) 自動車用安全部品評価方法のまとめとして、公知の評価方法 USCAR および AK-LV の和訳の確認を行った。

○第38回：平成27年9月24日（木）14:00～17:00 於 港区生涯学習センター
議事 1. 自動車用安全部品評価方法のまとめに関する議事(吉野) 自動車用安全部品評価方法のまとめとして、公知の評価方法 USCAR および AK-LV の和訳の確認を行った。 2. 専門分野の STEM 誌掲載論文選定を行った。 3. 日本大学の吉野氏が海外出張報告(ケント州立大学)を行った。

○第39回：平成28年2月4日（木） 14:00～17:00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1. 自動車用安全部品評価方法のまとめに関する議事(吉野) 自動車用安全部品評価方法のまとめとして、公知の評価方法 USCAR および AK-LV の和訳の確認を行った。

○第40回：平成28年3月23日（木） 14：00～17：00 於 日本火薬工業会会議室
議事 1.自動車用安全部品評価方法のまとめに関する議事(吉野) 自動車用安全部品評価方法のまとめとして、公知の評価方法 USCAR および AK-LV の和訳の確認を行った。

(10) 編集委員会

○第302回：平成27年6月5日(金) 15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室
議事1. 前回議事録の確認 2. 火薬学会運営委員会の報告 3. 「STEM」401号, 402号合冊誌の発行結果 4. 「EXPLOSION」72号の発行結果 5. 「STEM」の編集 6. 「EXPLOSION」編集

○第303回：平成27年9月29日(火) 15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室
議事1. 前回事録の確認 2. 火薬学会運営委員会の報告 3. 「STEM」403号, 404号合冊誌の発行結果 4. 「EXPLOSION」73号の発行結果 5. 「STEM」の編集 6. 「EXPLOSION」編集

○第304回：平成28年1月28日(木) 15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室
議事1. 前回議事録の確認 2. 火薬学会運営委員会の報告 3. 「STEM」405号, 406号合冊誌の発行結果 4. 「EXPLOSION」74号の発行結果 5. 「STEM」の編集 6. 「EXPLOSION」編集 6. 投稿規程改訂案

(11) 企画委員会

○第98回：平成27年5月18日(金) 15:00-17:00 於 日本火薬工業会 会議室
議事：1. 広報小委員会 (1) 学会 HP の更新状況及び主な問い合わせ (2) システムの確認 (通知メール, 論文検索用 PDF プロパティ他) (3) 学会 HP の更新検討・確認 (日中韓発破シンポジウムページ, バナー広告見直し他) (4) 学会社員のメール連絡のためのメールアドレス収集の検討 2. 国際化小委員会 (1) IGUS-EPP & EOS の資料確認と学会 HP 掲載 (資料フォーマットの見直し, 概要掲載他) 3. 企画委員会 (1) 論文 PR の送付先, 論文ダウンロード方法検討 (2) 和文論文 (EXPLOSION 誌) 投稿チェックリストの検討 (3) 論文誌の電子化と学会 HP への掲載状況確認 (4) 春季大会関連準備状況確認 (5) 新委員の委嘱 (6) 第100回記念会の実施について

○第99回：平成27年7月6日(月) 15:00-17:30 於 日本火薬工業会 会議室
議事：1. 委員会人事 飯田委員長から和田委員長に交代, 加藤新委員就任 2. 編集委員会関連 (1) 論文 PR の送付先 約300名分を収集 (2) 論文選出と HP の文面は編集委員会に依頼 (3) ダウンロード用サンプルページ作成済, ログの取得を検討 3. 広報小委員会 (1) プロパティ修正済の公開準備作業中 (2) バックアップの状況と費用の確認 (3) バナー広告料金の見直し→団体会員年間3万円で運営委員会に提案 (4) オンライン投稿チェックリストは編集部で確認、論文の容量制限の必要性についてサーバの残容量確認 (5) 火薬学会春季大会優秀講演賞の掲載 (6) 英語ページの改訂 4. 国際小委員会 (1) IGUS 資料はフォーマットを決め, 順次作業 5. 研究発表会関連 (1) 秋季大会の優秀講演賞審査委員長は加藤委員に依頼 (2) 企業表彰に代わる賞については西部支部で検討 6. 新委員候補の選出について検討

○第100回：平成27年10月9日(金) 15:00-17:30 於 日本火薬工業会 会議室
議事：1. 委員会人事 阿部新委員就任 2. 編集委員会関連 (1) 論文 PR の送付先 ISEM2014参加者分を更新 (2) PR 方法はインパクトファクター向上委員会(仮称)で検討 (3) アクセス制限付フォルダを論文のページ, 入会申込みページからリンク (4) 論文ファイルサイズ制限について、サーバ容量は200GB, 現在使用率30%で問題無し (5) 論文として必要な画

像解像度については編集委員会に検討依頼 (6) 学会ロゴはHP トップページの英語名を大きくしたものを検討 3. 広報小委員会 (1) 著作物複製使用料徴収のための学術著作権協会との契約, 運営委員会に提案 (2) 地盤工学会との協定について橋爪事務局長が打合せ (3) 来年春の学会会場は青山学院大学を予定 (4) 秋季大会でオンライン会員登録の宣伝 (5) サーバのバックアップについて バックアップ範囲, 方法など簡略な方法を検討 (6) バナー料金の見直しは運営委員会です承, 会員企業, 専門部会長に周知 4. 国際小委員会 (1) IGUS 資料は継続して作業 (2) 2017 年 IPS 開催地募集について、今回は見送り, 6 年後に向けて検討 5. 研究発表会関連 (1) 企業表彰に代わる発表者全員を対象とした特別賞を検討

○第 101 回: 平成 27 年 12 月 16 日(水) 15:00~17:15 於 日本火薬工業会会議室

議 事: 1. 編集委員会関連(1)編集委員会より選出論文リスト提出 (2)・論文 PR の送付先 ISEM2014 参加者分を更新し, 約 300 名分を収集済 (3) アクセスログの取得可否の確認, 管理ページの確認 (4) 論文投稿規定の更新 日本語版は完了 (5)・STEM 誌の略称については編集委員会で検討、ロイターは Sci. Technol. Energ. Mater. と略している。(6) 学会ロゴ

2. 広報小委員会 (1) 著作物複製使用料徴収のための学術著作権協会との契約について運営委員会です承されたので、契約を進める (2) 地盤工学会との協定について、運営委員会での指摘を踏まえて修正案を提案 (3) 学会初期の論文の原稿種別の確認は伊藤氏が作業済 (4) AIST 宛メールのブロックについて SE に確認 (5)・オンライン会員増強の方法を検討する (6) サーバのバックアップについて (7) バナー広告について (8) 志群システムズから契約終了の申し入れがあった

3. 国際小委員会 (1) IGUS 資料は 2015 年まで英語版作業済 (2) 日中韓のような国際イベントの開催については国際小委員会で議論して運営委員会に諮る。

4. 研究発表会関連 (1) 秋季研究発表会の表彰者のリストを HTML にする。(2) 特別賞, 企業特別賞のコンセプト, 選出方法を明確にする必要がある。(3)・安全工学シンポジウムのテーマ ; エアバッグの安全についてのテーマで自動車用安全部品専門部会にて検討

(12) 西部支部

○第 1 回幹事会: 7 月 24 日 (金) 於小倉ステーションホテル。平成 26 年度の決算、平成 27 年度事業計画および予算を確認した。

○支部研究会: 9 月 10(木), 11 日(金)に熊本大学黒髪南地区衝撃極限環境研究棟 3 階セミナー室において「火薬類の安全保安・利用に関する講習会」を熊本大学パルスパワー科学研究所, 爆発衝撃加工専門部会との共催で実施。

○第 2 回幹事会: 平成 26 年 12 月 10 日 (木) 於別府市公立学校共済組合宿泊所豊泉荘。

○研究会: 平成 28 年 3 月 1 日(月) 於九州工業大学戸畑キャンパス。九工大, 九産大, 熊大, 崇城大, 福大の卒論・修論発表会を開催した。

(13) 運営委員会

○第 124 回: 平成 27 年 4 月 15 日 (水) 15:00~17:00 於日本火薬工業会 会議室

議事 1. 前回 議事録承認 2. 平成 26 年度事業及び決算報告 3. 平成 27 年度 事業計画及び予算案審議 4. 永年会員の件 5. 総会報告事項の件 6. 入退会者

○第 125 回: 平成 27 年 8 月 6 日 (木) 15:00~17:00 於日本火薬工業会 会議室

議事 1. 前回議事録承認 2. 平成 27 年度春季研究発表会結果報告 3. 各専門部会、委員会報告 4. 運営委員として火工品専門部会長の松永氏を推薦する。5. 入退会者承認

○第126回：平成27年10月26日(月)10:00～12:00 於 日本火薬工業会
議事 1. 前回議事録承認 2. 各専門部会、委員会報告 3. STEM等の学術報告書に関する
著作権収入について 4. 第253回理事会開催について 5. 秋季研究発表会研究発表会受付状況

○第127回：平成27年12月9日(水) 於 別府 豊泉荘会議室
議事 1. 前回議事録確認 2. 各専門部会・委員会報告 3. 日中韓火薬発破技術者会議報告
4. 地盤工学会との覚書 5. 爆発物探知・テロ対策セミナー開催予定 3. 新入社員承認

○第128回：平成28年3月4日(金) 15:00～17:00 於日本火薬工業会 会議室
議事 1. 前回議事録確認 2. 平成27年度事業報告及び決算案 3. 平成28年度事業計画
及び予算案 3. 火薬学会賞結果報告(三宅審査委員長) 4. イノベーションWG報告(三
宅副会長) 4. 名誉会員、永年会員候補 5. 次期役員改選等 6. 次期評議員改選 7. 火
薬学会入退会者 8. 春季研究発表会(5月26、27日)特別講演者の推薦 9. ISEM
2017 準備委員会：企画委員会 10. エアーバッグ異常燃焼についての研究会開催
(14) 火薬学会イノベーションWG

○第1回：平成27年11月9日(月)10:00～12:00 於日本火薬工業会 会議室
1. イノベーションWGの趣旨 2. メンバー紹介 3. インパクトファクター向上策について
4. 学会誌品質向上策について

○第2回：平成27年12月9日(水) 14:30～15:30 於別府豊泉荘 会議室

○第3回：平成28年3月4日(金) 13:30～15:00 於日本火薬工業会 会議室

2. 火薬類に関する研究発表会、セミナー等の開催

(1) 春季研究発表会は慶應義塾大学日吉キャンパスにおいて、5月28日(木)～29
日(金)に開催した。参加者163名、特別講演2件、受賞講演6件、一般発表52件、
合計60件。懇親会参加者114名

(2) 秋季研究発表会は別府 豊泉荘において、12月10日(木)～11日(金)に開催した。
参加者は140名、特別講演1件、一般発表55件、合計56件。懇親会参加者は120名。

(3) 「法科学とCBRNEテロ対策講演会」平成27年6月26日(金) 共催(公財)総合
安全工学研究所、(公社)全国火薬類保安協会 於機械振興協会会議室 受講者77名

(4) 「第8回日中韓火薬発破技術者会議」平成27年11月23日(月)～27日(金)於福
岡大学中央図書館多目的ホール、大分太平洋鋳業株式会社津久見鋳山、及び熊本大学パ
ルスパワー科学研究所。1. 各国の発表件数(日本:5, 中国:3, 韓国:3) 2. 見学会 大分
太平洋鋳業株式会社津久見鋳山及び熊本大学パルスパワー科学研究所 参加者合計58名
(日本28、中国18、韓国12)

(5) 「爆発物探知・テロ対策セミナー」平成28年2月19日(金) 共催(公財)総合
安全工学研究所、(公社)全国火薬類保安協会 於 日油技研工業(株)川越工場 受講
者65名

3. 火薬学会賞の授与

火薬学会賞選考委員会に置いて①学術賞1名②技術賞2名③奨励賞1名を推薦し賞を授
与した。論文賞の対象者は無かった。

4. 学会運営

通常総会、評議員会、理事会、運営委員会（3回）、専門部会長会議を開催した。開催日、開催場所は次の通りである。

(1) 通常総会 : 平成27年5月28日（木）慶応義塾大学日吉キャンパス参加者 163名

(2) 評議員会 : 平成27年5月28日（木）慶応義塾大学日吉キャンパス 出席61名

(3) 理事会 :

○第252回 平成27年4月22日（水）日本火薬工業会会議室

○第253回 平成27年10月29日（木）日本火薬工業会会議室

○第254回 平成28年3月15日（水）日本火薬工業会会議室

(4) 運営委員会 : 日本火薬工業会会議室

○第124回 平成27年4月15日（水） ○第125回 平成27年8月6日（木）

○第126回 平成27年10月26日（月） ○第127回 平成27年12月9日（水）

○第128回 平成28年3月4日（金）

(5) 専門部会長会議 : 平成27年5月28日（金）慶応義塾大学日吉キャンパス

4. 平成27年度中の社員の異動状況

平成28年3月31日

	平成27年	平成27年度中の増減					平成28年	備考	
	4月1日	入会	移籍		退会・逝去	資格喪失	3月31日		
			入会	退会					
名誉社員	3						3		
永年社員	60				2		58		
特別賛助社員	14						14		
団体賛助社員	14				1		13		
個人賛助社員	13			1			12		
団体維持社員	11						11		
個人維持社員	150		1	1	3	1	146		
正社員	一般	441	27	1		21	2	446	
	学生	42	26			9		59	
合計	748	53	2	2	36	3	762		
外国社員	7	1			3		5		
(参考) 購読社員	6	3			1		8	22部	

資格喪失 : 会費 3年未納者 (平成25, 26, 27年度)